

LIVING & DINING

極太の丸太梁や大黒柱と借景が自慢の2階リビング

愛知・半田市 杉山さんの家 | 家族構成/夫35歳 妻34歳 長女2歳

極太の大黒柱と丸太梁が印象的なリビングダイニング。細かく配した屋根裏の垂木も美しい。窓側の壁に沿って多目的に使えるカウンターを巡らせている

高強度の骨太な構造と開放的な大空間を両立
 新居を構える場所として、自然災害の心配が少ない高台を選んだ杉山さん夫妻。夫は大手建設会社に勤め、妻は設計事務所勤務の一級建築士ということもあり、建物の構造に対する強いこだわりも。大喜工務店へ依頼を決めた経緯について、夫はこう振り返る。
 「魅力はなんといっても骨太な構造と吟味された素材の確かさ。大喜さんに勝る会社はないと思います、建築エリア外ですがお願いして



Find the Good House in the Local Builder



No.04

大喜工務店

無添加骨太高断熱住宅で安心と快適を実現する

上質の檜材を銘木の産地から直接仕入れ、自社倉庫で長期自然乾燥させて大黒柱などに使用。3階建て基準のベタ基礎や2階でもグラウンドピアノが置ける仕様を標準とし、すべての家が基準の1.7倍以上の耐震性能を誇る。さらに柱・梁・床・天井などを無垢材で構成し、壁にオリジナルの珪藻土などを用いた“無添加骨太高断熱住宅”を推進。過剰だと思われるほどのこだわりを貫き、大手建築会社に勤める幹部から家づくりを依頼されるほど信頼は厚い。



「檜材は銘木の産地・東濃地方から直接仕入れ、自社で長期自然乾燥しています」と社長の藤田喜代次さん

DATA

社名/大喜工務店
 代表/藤田喜代次
 住所/〒527-0087 滋賀県東近江市平田町764
 ☎0748-22-0028
 年間建築棟数/新築30棟
 設立/1952年1月
 建築エリア/滋賀県、京都府南部
 (そのほかの都府県は要相談)

PROFILE



藤田英喜
 住宅設計実績100軒以上の一級建築士。見た目のデザインだけでなく、生活スタイルに合わせて幅広い提案を行う。同じく一級建築士の社長とともに家づくりの全工程に携わる

本物の家を求めて遠方からの依頼も増えています



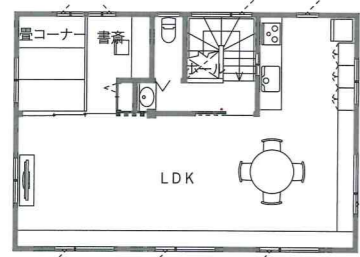
①南東角地の利点を生かすためLDKは南から東へのL字型の形状に。壁はドイツ漆喰を基本に、アクセントで杉板をあしらった。床は傷に強いナラ材 ②白でまとめたシステムキッチン。正面にある障子の小窓を開けると階段室へと通じ、階下にいる家族に声をかけられる

ると、私たちの熱意が伝わって引き受けてくださったんです」
 ロケーションを考慮して導き出したプランは、角地の開放感と東側に開けた森の借景を生かせる2階リビングの家。個室とサニタリーを1階にまとめることで、2階に大空間を実現した。
 「食事をしながら新緑や紅葉などの景色が楽しめます。屋根裏を見せた高い天井も気持ちいい」
 妻がそう語るリビング内で、一目を引くのが、9寸角の檜の大黒柱と、地松を使った極太の丸太梁。ナラ材の床や杉板の壁なども調和して、心地よい木の温もりと香りを漂わせる。
 多くの窓に囲まれた空間でありながら、優れた断熱性で冬も暖か。夏の日差しは遮る一方、冬の日差しは奥まで入る軒の長さ設計するなど、1年を通して快適に過ごせるような工夫も行き届く。



FACADE

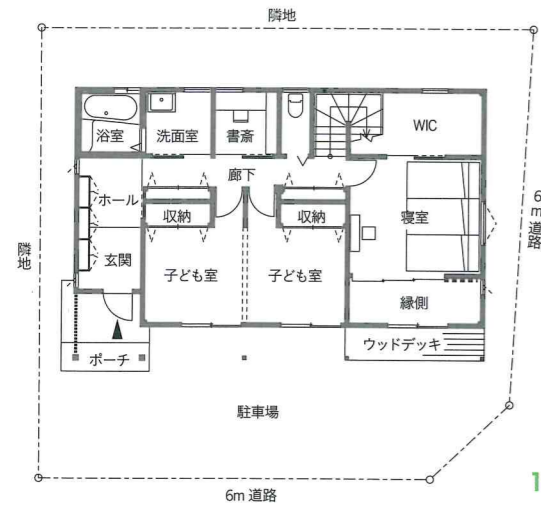
玄関側は斜線制限にかからないよう平屋で設計。1階・2階ともに南側の庇を大きくすることで夏の日差しをカット。外観のデザインを優先して、バルコニーはあえて設置していない



2F



⑤玄関は平屋の利点を生かし、天井の高さを屋根まで確保。トールサイズの下駄箱と高窓を設けている ⑥シンボルツリーのモミジが迎えるアプローチ。ポーチの壁には杉板をあしらった



1F



DATA

敷地面積 / 160.96㎡ (48.78坪)
 延床面積 / 131.40㎡ (39.82坪)
 1階 / 70.87㎡ (21.48坪)
 2階 / 60.53㎡ (18.34坪)
 用途地域 / 第1種低層住居専用地域
 建ぺい率 / 60%
 容積率 / 100%
 構造 / 木造軸組工法
 本体工事費 / 2500万円
 竣工 / 2017年9月

INSTRUMENTS

厨房機器 / タカスタンダード
 衛生機器 / TOTO
 窓・サッシ / LIXIL

- CHECK POINT -

長期自然乾燥させた9寸角の檜の大黒柱

1階から2階リビングへと貫く9寸角の大黒柱は、品質が高い東濃産の檜を使用。大喜工務店の倉庫で長期自然乾燥をさせることでさらに強度を高めている。極太の丸太梁などと合わせて高耐震の家を実現するとともに、インテリアとしての美しさも兼ね備える。



1階の廊下に沿って個室とサニタリーを効率よく配置。洗面室内に十分なスペースが確保できなかったため、リネン庫として使える収納を廊下に設けている



WORK ROOM

①・②リビングの隣に設けた書斎 & 畳コーナー。小上がりに引き出し収納、デスクに本棚を併設した。引き戸を開放しておけばリビングの延長として使える

“木の香りに癒やされ、素足で歩くと気持ちいい”

BED ROOM

安心して子育てできるおうちですね



現在は10畳の大空間にしている子ども室。出入り口やクロゼットはそれぞれ2つあり、必要に応じて5畳ずつの2部屋に分けられる。床は寝室よりも少し軽快なフィンランド産パイン



③ポルドーパインの床が美しい寝室。杉板のアクセント壁に連窓やブラケットを施してエレガントな雰囲気に演出した ④寝室には主に室内干しスペースとして使う縁側を併設。外側には多目的に使えるウッドデッキを設けている